

「ハイパートラック」
需要開発の日玉に
商品化へ 実証推進 LPG 49% 混合成功

だるまエナジー

だるまエナジー（本社：千葉県印西市、代表取締役社長：古田洋一）は、元壳関係者も含む多くの業界関係者が注目する「ハイパートラック」の実証実験を開始した。この車両は、LPGガスとガソリンの混合燃焼を行った結果、燃費が約49%向上したとされる。

古田社長は、「新しく開拓する市場として、ガス需要開発につながるガス消費機器などを考へて、LPGを用いたデータ収集を行ったところ、燃費率が約49%向上した」と述べた。また、オートガス需要の拡大を目指し、今後の実証試験や普及モニタリングなどで、ガス需要開拓に取り組む方針である。

一方で、LPGガスによる運送車両の開発を進めている企業の中でも、古田社長は「世界のディーゼル需要が1~2年で回復する」と予測している。この結果、LPGガスによる運送車両の一部だけでも、LPGガスによる運送距離の延長、自動燃料の多様化などを考慮して、「ハイパートラック」と命名した。

（出典：だるまエナジー）

LPG車の復権をユーザー目線から取り組み、強靭な日本の国づくりに貢献することを目指しています

Daruma Energy
だるまエナジー

www.darumaenergy.com